

畜産みやぎ

発行所

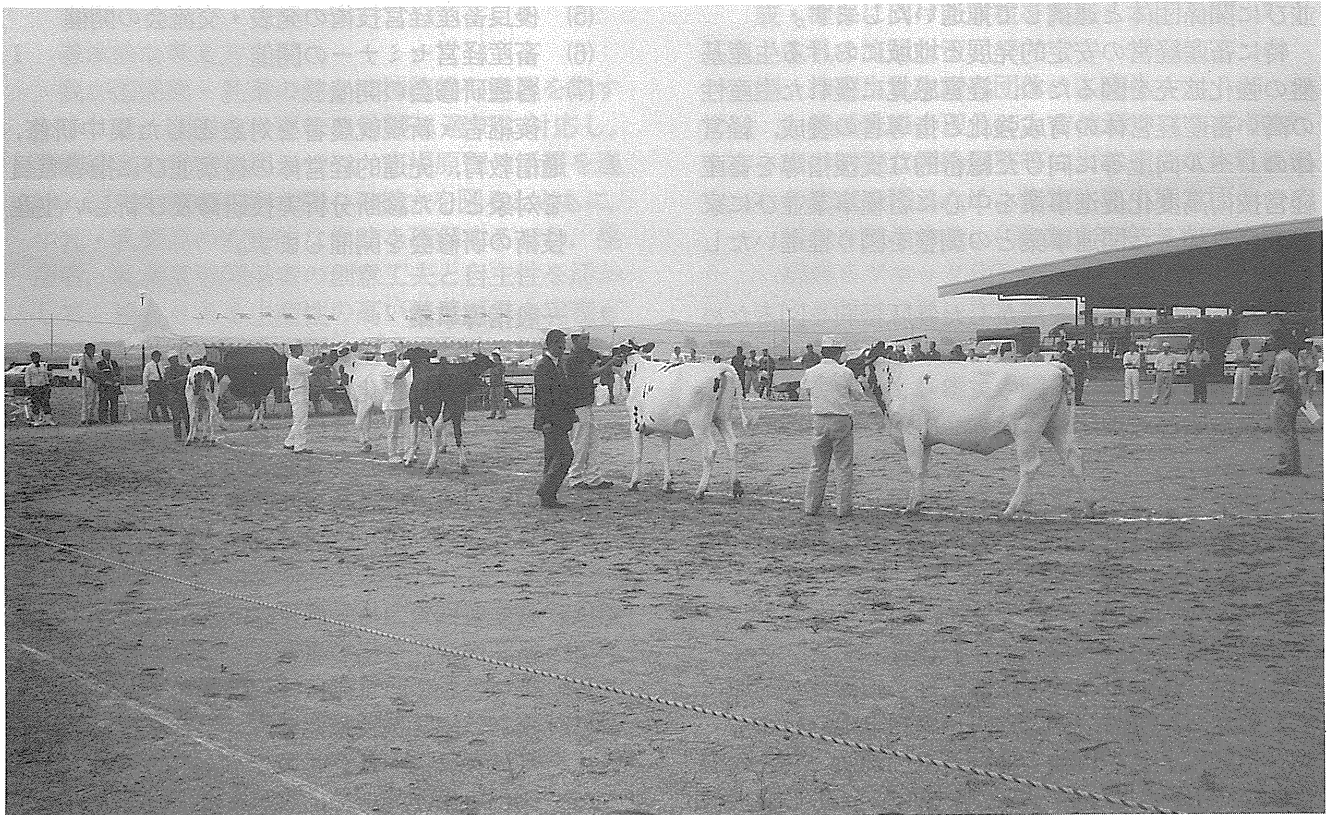
名取市増田字柳田379番地1

法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

印刷所 楡東北プリント



第35回宮城県同志会ホルスタイン共進会 (H 11. 6. 22 みやぎ総合家畜市場)

もくじ

平成11年度宮城県畜産会事業計画の概要	2
「新たな酪農・乳業対策大綱」の概要	3
肉用牛ヘルパー等組織支援対策事業	4
平成10年度黒毛和牛登録事業状況について	5
畜産環境整備リース事業について	6
経営効率化機械リース助成事業について	7
削蹄師バンク設立について	7
平成11年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ	8
第35回宮城県同志会ホルスタイン共進会結果報告	8
平成11年度北日本養鶏研究大会並びに 鶏病研究会北海道・東北地区技術研修会の開催について	8
豚凍結精液実用化試験	9
インターネットと畜産情報	10
「アメリカ酪農の現状」	10

みやぎの畜産情報発信基地 宮城県畜産会ホームページ

U R L <http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>

Eメール mygchiku@mwnet.or.jp

平成11年度宮城県畜産会事業計画の概要

(社)宮城県畜産会

平成11年度本会の事業計画は、去る6月24日に開催した第44回定時総会において承認されました。

本年度事業は畜産をめぐる情勢の変化に対応し、現状に即した各種指導事業を県および県関係機関、並びに関係団体と連携して推進いたします。

特に畜産経営の安定的発展と地域における生産基盤の強化拡充を図るため、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成強化と指導者の養成、経営体のレベル向上等に向けた総合的な支援指導を畜産経営技術高度化促進事業を中心に各種事業並びに家畜改良を加えた関連事業との調整を図り推進いたします。

また、地域の特色を活かした養豚振興を図るため地域養豚振興特別対策事業を柱に生産基盤の拡充強化と経営の安定向上を図って参りますので関係各位のなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 畜産経営技術高度化促進事業

(1) 畜産経営支援指導研究会

- イ. 総合委員会 年2回
- ロ. 専門委員会 年6回(3畜種各2回)

(2) 地域畜産経営体相談窓口指導

経営体の日常的な状況把握と指導及び地域における指導の連絡調整等指導相談の窓口として相談員3名を畜産会仙南(大河原), 中央(小牛田), 仙北(南方)の事業所に駐在して指導業務に従事します。

(3) 畜産経営技術支援指導

畜産経営体からの要請を受けて次の件数について診断指導を実施します。

個別診断指導	25戸
経営管理技術指導	30戸
生産技術指導	60戸
フォローアップ(巡回)	60戸

(4) 畜産経営情報データベース化事業

パソコン通信網を活用した総合的な畜産関係

情報の提供を図るため検討委員会の開催, ネットワークの開設と各種情報のデータベース化を推進し畜産経営技術の高度化に対応した精度の高い支援指導を推進します。

- (5) 優良畜産経営技術の発表・交流会の開催
- (6) 畜産経営セミナーの開催
- (7) 各種研修会の開催

後継者・新規就農者を対象とした集中研修, 通信教育, 先進的経営体の視察並びに指導職員を対象とした診断分析実技研修及び新しい生産技術の研修会を開催します。

2. 一般指導事業

- (1) 宮城県総合畜産共進会の開催
- (2) 畜産経営安定化特別指導事業
 - イ. 先進的畜産経営体調査 8事例
 - ロ. 先進的畜産経営者協議会の開催
- (3) 肉用牛生産経営技術改善事業
 - 調査頭数 繁殖牛4,500頭, 子牛2,400頭, 肥育牛5,000頭
- (4) 畜産特別資金借受農家診断指導事業
- (5) 畜産環境保全指導事業
- (6) 担い手集中経営支援体制整備事業
- (7) 経営効率化機械整備リース事業
- (8) 地域養豚振興特別対策事業
- (9) 肉用牛集団育種推進事業
- (10) 食肉処理衛生管理向上推進事業
- (11) 肉用牛ヘルパー等組織支援対策事業
- (12) 畜産団体調整機能強化事業
- (13) 畜産基盤再編総合整備実施計画策定事業
- (14) 畜産技術普及広報活動

以上、畜産経営技術高度化促進指導事業、一般指導事業の他平成11年4月全農から移管された家畜登録事業及び家畜人工授精用精液等供給事業は指導事業と一体的に実施し家畜改良事業を円滑に推進して参ります。(総務経理課長 高橋 功)

動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤
フロントラインスプレー

新発売

動物用医薬品
ビタミンE・セレン配合ミネラル配合塩
銩塩E100

東北ゼンヤク株式会社
〒981-3361 宮城県黒川郡広谷町あけの平2丁目3-1-5
TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

ORION
ともに前進 技術のオリオン

酪農家の
声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社
本社 〒984-0001 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691
宮城営業所 吉川道新田字泉産敷59-4
〒989-6226 TEL (0229)26-4330

WORLD 世界の
サンショパン

株式会社 五十嵐商会
仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)

「新たな酪農・乳業対策大綱」の概要

宮城県畜産課

宮城県畜産課

農林水産省新基本法農政推進本部は、去る3月15日今後の酪農・乳業政策の改革方向を定めた「新たな酪農・乳業対策大綱」を決定した。

主な内容は以下のとおり。

I 基本的な考え方

我が国酪農・乳業の健全で持続的な発展を期すためには、国際化の更なる進展に適切に対応し、酪農経営の安定を図りつつ、市場原理の活用を進め、国内生産の可能な限りの拡大を図るとともに、牛乳・乳製品の安定的な供給を確保するほか、生産者、乳業者等関係者の創意工夫と自主性を活かして、ゆとりある生産性の高い酪農経営の実現と効率的な乳業の確立を図るため、「新たな酪農・乳業対策」を構築する。

II 主要な改革の方向

1. 市場実勢を反映した適正な価格形成の実現及び酪農経営の安定の確保

(1) 市場実勢を反映した適正な価格形成の実現
平成13年度を目途として、計画生産等の確かな実施により、引き続き全体としての需給の安定を図りつつ、安定指標価格、国産乳製品の売買操作、基準取引価格及びこれに係る勧告を廃止し、実際の取引価格が市場実勢を反映して形成される制度に移行する。

(2) 酪農経営の安定の確保

価格に市場実勢を反映させた場合において、加工原料乳地域における生乳の再生産を確保し、加工原料乳の生産者の経営安定を図るための措置を実施する。(現行の生産者補給金制度は、平成13年度を目途として、加工原料乳の生産者に対する新たな経営安定措置に円滑かつ適正に移行する。)

2. 経営体・担い手対策—ゆとりある生産性の高い酪農経営の確立—

地域の実態に即した合理的な経営指標及び生産性向上の目標を設定し、意欲ある担い手の育成・確保に向けた取組を実施する。

3. 生乳の流通対策

(1) 指定生乳生産者団体の広域化

集送乳の合理化による流通コストの削減、よりの確な需給調整等による適正な生乳価格の形成を図るため、指定生乳生産者団体の広域化を推進する。(平成12年度末までに都道府県8ブロック化)

(2) 透明性の高い生乳取引の推進

指定団体の広域化を踏まえ、需給事情の適切な反映、生産者の経営の安定及び所得の確保を図る観点から、入札等市場取引の導入や相対取引のルール化等透明性の高い公正かつ適正な生乳取引について検討を行う。

4. 乳業対策—地域の実態に即した乳業の再編・合理化—

工場の統廃合等についての目標を設定し、地域の実態に即したきめ細かな再編・合理化を実施する。

III 当面の措置

指定生乳者団体の広域化の推進、透明性の高い生乳取引の検討、乳製品取引市場の創設・定着を図るほか、現行制度の適切な運用を行う。

特別対策(いわゆる「横積み」)については、畜産環境問題に適切に対応し得る飼料基盤に立脚した酪農経営者を支援するための施策に転換する。(今年度から土地利用型酪農推進事業を実施)

(畜産振興班 菅原隆之)

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16 全農みやぎ畜産課内 TEL 022(264)8450

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス
牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 全農 経済連

畜産振興の明日を
担う地方競馬



地方競馬全国協会

肉用牛ヘルパー等組織支援対策事業

(社)宮城県畜産会

本事業は、近年の肉用牛飼養者の高齢化や担い手不足を背景とした労働力不足等に起因する肉用牛生産基盤の脆弱化に対応するため、社団法人全国肉用牛協会の助成の下に、本県においては本会が事業実施主体となり今年度より以下の事業を実施するものです。

つきましては、先頃ヒヤリングを終了し本年度から事業を実施する各ヘルパー利用組合及び生産集団が決定しましたのでここに事業を紹介致します。

- 1. 事業実施主体 (社)宮城県畜産会
- 2. 事業実施期間 平成11年度から14年度(4年間)
- 3. 事業のしくみ(図1) (社)全国肉用牛協会の全国基金からの助成金を基に(社)宮城県畜産会に地域基金を造成し、肉用牛生産集団(定額助成(表1))及び肉用牛ヘルパー組合(1/2助成)に必要な活動費を助成する事業です。但し、肉用牛ヘルパー組合の1/2自己負担分については、年度当初に地域基金へ納入します。

- 4. 事業の内容
 - (1) 肉用牛ヘルパー活動推進支援
 - ① 利用組合の要件 農協、県連、農事組合法人、知事が適当と認める法人又は農業者の組織する法人格を有しない団体で、必要な規約を有する組合。
 - ② 助成の内容
 - ア. 肉用牛ヘルパー活動の組織化
 - イ. 肉用牛ヘルパー要員の確保活動
 - ウ. 肉用牛ヘルパー活動に係る研修会等の開催
 - エ. 肉用牛ヘルパーの出役調整
 - オ. 肉用牛ヘルパーの傷害保険・損害保険の加入
 - カ. 互助制度の推進
 - ク. その他
 - ③ 助成基準 1/2助成
 - ④ 平成11年度事業実施予定利用組合 田尻町和牛改良組合、JA栗っこ肉用牛ヘルパー部会、JAみやぎ登米肉用牛ヘルパー部会
 - (2) 肉用牛生産集団活動支援
 - ① 生産集団の要件 原則として、3戸以上の農業者(農事組合法人及び農事組合法人以外の農業生産法人にあっては、1法人を1戸とする。)から構成され、必要な規約を有する集団。
 - ② 助成の内容
 - ア. 生産集団活動計画・協定の作成等組織運営強化に要する経費
 - イ. 共同作業等の協業活動の推進に要する経費
 - ウ. 先端技術の導入に要する経費
 - エ. 家畜の飼養管理の合理化、分業、受委託、請負等の契約による飼料作物の生産に要する経費

- オ. 耕種農家等との連携による堆きゅう肥の処理供給等地域資源の活用並びに畜産環境保全に要する経費
 - カ. 離農跡地の利用促進等生産性の向上を図るのに要する経費
 - キ. 産地銘柄化の取り組み、消費者との交流活動等の推進に要する経費
 - ク. その他本事業の目的達成のために必要な生産集団又はその構成員の共同活動、共同作業等に要する経費
- ③ 助成基準 定額助成(表1)
- ④ 平成11年度事業実施予定生産集団 古川畜産活性化推進組合、中新田乳雄育成組合、色麻町和牛改良組合、田尻町和牛改良組合、JA栗っこ繁殖牛生産者協議会、JA栗っこ肥育牛生産者協議会、花山村和牛生産組合、JAみやぎ登米和牛改良組合協議会
- なお、来年度以降も事業参加を受付ける予定ですので、詳細については最寄の家畜保健衛生所、畜産振興部及び本会経営指導課へお問合せ願います。(経営指導課 石川正志)

図1 肉用牛ヘルパー等組織支援対策事業のしくみ

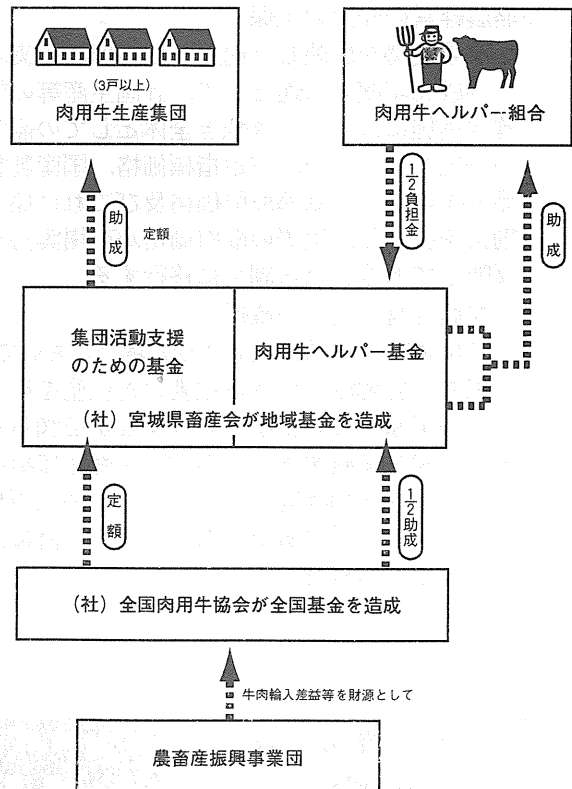


表1 肉用牛生産集団活動支援助成基準

1 肉用牛用途別年間助成額	●肉専用種繁殖牛 ●肉専用種肥育牛 ●乳用種(交雑種を含む)肥育牛	1頭当たり5,000円以内 1頭当たり3,000円以内 1頭当たり2,000円以内
2 1生産集団当たり年間助成額	1に掲げる肉用牛用途別年間助成額に当該肉用牛の飼養頭数(3の助成期間における各年度の事業実施計画決定時における飼養頭数)を乗じて得た額以内とする。ただし、肥育牛の飼養頭数は1,000頭を限度とする。	
3 助成期間	同一の生産集団に対しては、4年間を限度として、毎年度、助成金を交付することができるものとする。	

平成10年度黒毛和牛登録事業状況について

全国和牛登録協会宮城県支部

平成10年度における全国和牛登録協会の会員数は、105,709名（平成9年度122,587名）で前年比86.2%，登録頭数は56,351頭（平成9年度64,546頭）で前年比87.3%，登記頭数は422,736頭（平成9年度459,871頭）で前年比91.9%と減少の傾向にあります。これは、産地間の差はあるものの枝肉価格および子牛価格がほぼ前年度と同様に推移していることから、価格の問題ではなく後継者不足、環境問題による要因と予想されます。

本県の状況は、下記に記載のとおり（表）会員数は8,264名（平成9年度8,798名）で前年比93.9%，登録頭数は2,699頭（平成9年度2,711頭）前年比99.6%，登記頭数は23,358頭（平成9年度24,720頭）前年比94.5%と多少の減少はあるものの、ほぼ前年度同様で推移されました。また、本県登録頭数と基本登録頭数を比較すると前年度より基本登録頭数が多くなっていますが、これは本原資格を有していても得点が満たない牛が多くなっているのが原因で、優良牛の保留および導入に問題点があるものと思われるので今後の課題と言えます。

本県では、和牛登録事業に対して県・大学をはじめ、育種組合・推進組合・和牛改良組合などの組織の取り組みおよびJAをはじめとする関係団体のご指導・ご協力が、この減少傾向の中、前年度同様の事業推移となりました。今後とも皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げ和牛登録事業報告といたします。（上野新英）

平成10年度登記・登録件数

項目	育種牛	高等登録					本原登録					基本登録					子牛登記				能力証明	血液型検査	合計	会費			
		登録♂	登録♀	移動証明	再交付	書換更生	登録♂	登録♀	移動証明	再交付	書換更生	登録♂	登録♀	移動証明	再交付	書換更生	登記♂	登記♀	再交付	書換更生							
仙南	当月							12	7	4			31	12			152	140	1						10	369	9
	累計	0	0	16	5	0	0	118	99	6	0	0	208	108	2	0	1,567	1,518	3	0	0	0	0	0	168	3,818	1,190
	計画			20	5			180	70				250	70			1,500	1,400							130	3,625	1,150
	対比	0%	0%	80%	100%	0%	0%	66%	141%	0%	0%	0%	83%	154%	0%	0%	104%	108%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	129%	105%	103%
古川	当月				1			54	21		1		5	7			97	82		3					38	309	6
	累計	0	0	7	19	0	4	427	227	6	2	0	65	79	2	0	2,339	2,258	4	3	3	3	3	3	164	5,609	1,501
	計画			20	10		4	300	200				100	50			2,500	2,400						10	200	5,794	1,350
	対比	0%	0%	35%	190%	0%	100%	142%	114%	0%	0%	0%	65%	158%	0%	0%	94%	94%	0%	0%	30%	82%	97%	30%	82%	97%	111%
遠田	当月				1			63	6				40	3			137	123	1						2	376	3
	累計	7	0	13	11	0	0	343	164	0	0	0	225	89	2	0	2,293	2,114	4	1	0	0	0	0	16	5,282	1,284
	計画	15		40	15			310	140				180	100			2,500	2,400						10	50	5,760	1,500
	対比	47%	0%	33%	73%	0%	0%	111%	117%	0%	0%	0%	125%	89%	0%	0%	92%	88%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	32%	92%	86%
栗原	当月							49	8				20	2			157	160	1							397	1
	累計	0	0	12	14	1	0	345	179	9	0	0	97	55	1	0	2,297	2,225	1	2	0	0	0	0	30	5,268	1,833
	計画			50	10			300	180				60	60			2,500	2,400							30	5,590	1,900
	対比	0%	0%	24%	140%	0%	0%	115%	99%	0%	0%	0%	162%	92%	0%	0%	92%	93%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100	94%	96%
登米	当月							45	11				42	1			256	238							1	594	5
	累計	19	0	15	5	0	0	501	124	2	0	0	366	104	6	0	3,530	3,217	4	3	0	0	0	0	47	7,943	2,456
	計画	30		60	10			500	180				300	120			3,600	3,400							100	8,300	2,500
	対比	63%	0%	25%	50%	0%	0%	100%	69%	0%	0%	0%	122%	87%	0%	0%	98%	95%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	47%	96%	98%
合計	当月	0	0	0	2	0	0	223	53	4	1	0	138	25	0	0	199	743	3	3	0	0	0	0	51	2,045	24
	累計	26	0	63	54	1	4	1,734	793	23	2	0	961	435	13	0	12,026	11,332	16	9	3	3	3	3	425	27,920	8,264
	計画	45		190	50		4	1,590	770				890	400			12,600	12,000						20	510	29,069	8,400
	対比	58%	0%	33%	108%	0%	100%	109%	103%	0%	0%	0%	108%	109%	0%	0%	95%	94%	0%	0%	15%	83%	96%	15%	83%	96%	98%
前年同期累計	9	1	124	53		5	1,825	800	24	3	2	881	437	21	3	12,781	11,939	23	11	1	1	1	1	569	29,512	8,798	
対比	289%	0%	51%	102%	0%	80%	95%	99%	96%	67%	0%	109%	100%	62%	0%	94%	95%	70%	82%	300%	75%	95%	300%	75%	95%	94%	

(平成11年3月現在)

畜産環境整備リース事業について

宮城県畜産課

リース事業については昨年度にご紹介いたしましたので、今回は1/2補助付リース事業と本年度から改正した点についてご紹介させていただきます。

○1/2補助付リース事業

畜産農家が家畜糞尿処理や飼料調製等に利用する機械等を機構が定める期間で貸し付け、その後畜産農家に譲渡する従来からのリース事業（以下「通常リース」）に加えて、平成9年度から平成11年度までの間に環境規制の厳しい地域において家畜ふん尿の素堀り投機・野積みの改善に資するため堆肥舎等の家畜糞尿処理機械・装置（特別対策機械）を設置する場合1/2の補助が受けられる制度（以下「1/2補助付リース」）が実施されているところです。

特に1/2補助付リースでは、全国的に非常に多くの要望があり、限られた予算の中で緊急性・事業効果等を考慮して、事業対象者を定めたところです。平成10年度は県内で7件、事業費131,248千円（補助額65,624千円）の実績がありました。平成11年度については昨年度から国・借受団体との調整を行い、先日事業参加者が決まったところです。

当初、1/2の補助については平成11年度までということでしたが、全国的に必要性が高い状況を鑑み、平成12年度以降も続く可能性が高いようです。事業化が確定しましたら、借受団体を通じて要望の取りまとめを行わせていただく予定にしております。

○見積りについて

リース事業は、1/2補助付リースはもちろん、通常リースについても、財源が国の補助金となっていることから、適正な使い方をされる必要があります。このことから、今後は機械・施設等をリースする際には原則として3社以上から見積りをとり、価格・アフターサービス等を総合的に勘案して末端借受者の経営に最も適するものを導入するようにして

下さい。

○保険保証制度について

末端借受者の最終借受者（農協等）に対する債務の履行を保険会社が保証することにより、リース事業の円滑な運営を図ることを目的に平成11年4月から、全てのリース事業に適用されることになりました。

保険料：保険金額に保険料率を乗じて算出し、毎年、末端借受者が納付（前納）する。保険料率は当面0.5%。（変更の可能性もある。）

保証保険の対象：貸付契約の解約に伴う末端借受者の精算額及び違約金

契約方法：末端借受者が貸付契約時に提出する委任状に従い、機構が保険会社と包括契約を締結する。

債権求償：保険時事故後、機構が保険金を受け取った場合は、末端借受者に対する債権は保険会社に譲渡される。

○お申し込み・お問い合わせは

借受団体（全農みやぎ・県配合飼料価格安定基金協会・県生乳販連）もしくは、県畜産課、家畜保健衛生所、農林振興事務所（畜産振興部）へお問い合わせ下さい。

（草地環境整備班 平子智子）



●効能……粗飼料の食い込み、消化吸収促進
悪臭防止、優良堆肥作り
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母

Ferment Feed
ピタコーゲン

株式会社セイフ 東北営業所
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 213-7190

STAR STAR農業機械
マニュアルフレック

倍角ステアリングで
ラクラク作業

TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングタイプ) (ディスクタイプ)

STAR農機株式会社 仙台営業所
〒985-0845 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

●KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業

コマツ宮城株式会社
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番(代)

経営効率化機械リース助成事業について

社宮城県畜産会

この制度は、リース料の一部を助成し、借受者の負担を軽減するものです。

1. リース助成の対象者

家畜・家きんを飼養する「認定農業者」及び知事が適当と認める経営者、また、農協、農協連、事業協同組合及び特認団体等。

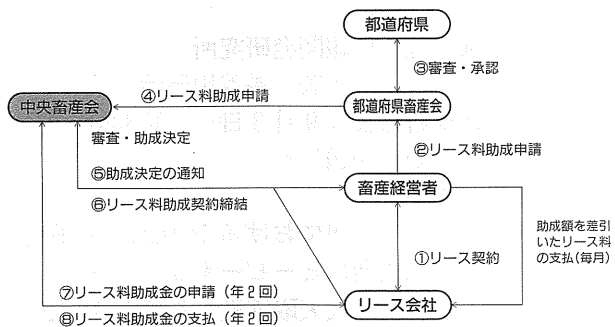
2. 助成対象機械・装置

リース料助成対象機械の種類	リース期間
新搾乳システム関連 ミルカーユニット、自動離脱装置 自動計量装置、自動洗浄装置 付帯機器 ピット内ストール、ゲート バルククーラ	3年以上5年以下 3年以上5年以下 5年以上8年以下 6年以上8年以下
自動給餌システム関連 自動給餌機、サイレージ取り出し機械 飼料混合調製機械、飼料粉碎用機械 飼料運搬装置、飼料荷受け装置 飼料貯蔵装置	5年以上8年以下 5年以上8年以下 5年以上8年以下 5年以上8年以下
畜舎内環境制御関連 微気象制御システム、セミウインドレス装置	4年以上6年以下
省力化飼養管理関連 パソコン、パソコン周辺関連	4年以上6年以下
その他 高床式分娩ケージ 多機能床パネル、生体肉質測定機 高压洗浄器、堆肥搬出用機械 送風機 体重測定機 特認機械	5年以上8年以下 3年以上5年以下 3年以上5年以下 4年以上6年以下 6年以上8年以下 対象機械により算定

3. リース料助成率

農協・農協連等 付加料の3.9%助成
認定農業者 付加料の4.8%助成

4. 本リース事業の仕組み



5. 事業期間(申請受付期間)

平成12年度まで

6. 本事業の申請及び問合せ先

社宮城県畜産会 経営指導課
〒981-1224 名取市増田字柳田379-1
TEL 022(382)8133
FAX 022(382)8135

削蹄師バンク設立について

NOSAI 宮城

近年、酪農経営の大型化に伴い、省力管理と経済性が先行するために本来の生理を逸脱した個体管理がなされ、特に護蹄衛生に対する農家の関心が極めて低く乳牛等の肢蹄疾病の増加傾向にある。

牛蹄は月平均6~8mm伸長することから肢蹄疾病の発生予防と増体、肉質、乳量など生産性の向上から少なくとも年2回の削蹄実施を指導啓蒙しているが、削蹄師不足、削蹄師の地域的偏り等の原因により年1回の削蹄もままならぬ状態である。

平成10年度末現在、県内の大家畜飼養頭数は141,000頭であり、これに対し、宮城県削蹄師会に登録されている会員は約100名、実際活躍している削蹄師は6割程度と思われる。

このようなことから、この度、宮城県装削蹄師会のご協力を頂き、削蹄師バンクを設立する運びとなった。

これは、削蹄を希望する組合員(農家)から直接または間接的(家畜診療所獣医師、指定獣医師または組合担当職員等を通じて)に削蹄師バンク事務局もしくは各組合家畜課に申込みを頂き、事務局より削蹄師に依頼するものである。原則的に牛群全体の削蹄を行うのが前提であり、その際、派遣する削蹄師を農家が指名することは出来ないこととなっている。削蹄技術料は原則として宮城県削蹄師会で定めている1頭当たり、3,500円以上となるが、これらについては派遣された削蹄師と畜産農家の話し合いとなる。

事故防止と生産性の向上を図る上からも、自然の肢勢や蹄形を保つよう年2回の削蹄に努めて頂きたい。

宮城県削蹄師バンク事務局 TEL 022(225)6781
(家畜部次長 武蔵昌文)



ビフィズス菌は
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
生きてそのまま腸までとどきます。

ビヒダス
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社
名取市殿野五丁目1番3号
(022) 384-5181

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

TCM SUPER SOLOADER
スーパーボ70-7
世界トップレベルの超低騒音

67 dB(A) Clear

TCM 東北ディーラー エム株式会社
本社・工場 仙台支店 宮城県仙台市宮城野区中野字家畔135-1
☎(022) 259-6351(F)

平成11年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ

(社)宮城県畜産会

農林水産祭参加平成11年度宮城県総合畜産共進会は、下記日程で開催いたすこととなりましたので多数ご参観くださるようご案内申し上げます。

1. 肉豚の部

開催日 平成11年9月8日(水)~10日(金)

場所 宮城県食肉流通公社(米山町)

2. 乳用牛・肉用牛の部

開催日 平成11年9月19日(日)

場所 みやぎ総合家畜市場(小牛田町)

3. 出品頭数

・肉豚の部 150セット(同腹去勢2頭, 雌1頭, 計3頭1セット)計450頭

・乳用牛の部 80頭

・肉用牛の部 73頭, 17組(64頭)計137頭

4. 付帯行事

・県学校農業クラブ連盟家畜審査競技会

・和牛婦人部審査コンクール

・乳用牛ジャッチングコンテスト

・食肉の展示即売(「高級牛肉仙台牛」「ミヤギノホーク」)

・牛乳・乳製品展示即売

・牛乳の料理実演及び試食

・焼肉コーナー

・地場産品展示即売

・家畜改良・家畜衛生相談コーナー

(総務経理課長 高橋 功)

第35回宮城県同志会ホルスタイン共進会結果報告

宮城県ホルスタイン協会

宮城県ホルスタイン改良同志会主催による標記共進会が、去る6月22日にみやぎ総合家畜市場において開催されましたので、その審査結果を報告致します。

[名譽賞]

出品区分	名号	出品者氏名	市町村
生後10ヶ月	2リーチリバー ライム	及川 富男	鳴瀬町
未滿	マイク フタゴ		
3歳未滿	ケーファーム ミックス	半沢 善幸	丸森町

(太宰 仁)

平成11年度北日本養鶏研究大会並びに鶏病研究会北海道・東北地区技術研修会の開催について

宮城県養鶏協会・鶏病研究会宮城県支部

北海道・東北地域の養鶏生産者、鶏病研究会関係者、業界関係者が一同に会し、「北日本養鶏研究大会」並びに「北海道・東北地区技術研修会」が7年ぶりに宮城県で開催されることとなりました。

開催内容につきましては、下記のとおりですが、今回の養鶏研究大会の講演は、養鶏関係者のみならず、一般の方々にも興味を持って聞いていただけるような内容となっておりますので、多くの方々の参加をお待ちしております。

1. 開催期日 平成11年9月2日(木)~3日(金)

2. 開催場所 仙台市民会館 小ホール

3. 主催 (社)日本養鶏協会北日本地域協議会
宮城県養鶏協会・鶏病研究会宮城県支部

4. 開催内容

(1) 北日本養鶏研究大会(9月2日 13時30分~)

① 講演 「時代が迫る発想の転換」

講師 宮城大学 学長 野田一夫 氏

② 講演 「日本人よ、コレステロールを恐れるな」

講師 医療情報開発研究所

代表 長谷川元治 氏

(2) 鶏病技術研修会(9月3日 9時30分~)

① 演題発表(10題)

② 特別講演

演題 「採卵鶏における HACCP の概念」

講師 株式会社ビーピーキューシー

代表取締役 加藤宏光 氏

5. 問い合わせ先(電話 022-211-2851)

宮城県養鶏協会・鶏病研究会宮城県支部

(畜産振興班 菅原隆之)



各県の畜産会が選り出した全国約2000件の畜産物生産情報を、一堂に集めました。

今まで知らなかった珍しい畜産品や、こだわり畜産品の数々。産直品で食卓にひと花添えたい人から、産直品を作りたい人まで、とつても役に立つ情報が、インターネットでご利用になれます。

宮城県畜産会ホームページからのアクセスをお勧めします。

<http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>

.....日本全国いいもの産直便.....

＜畜試便り＞

豚凍結精液実用化試験

宮城県畜産試験場

1. はじめに

近年豚の人工授精は生産現場にかなり普及しており液状精液に関しては、かなり高い受胎率が得られほぼ実用化しています。しかし、凍結精液については国内ではまだ実用化のレベルに達していません。豚の場合凍結融解後の生存率や受胎率が低く、また、雄の個体差が大きいことが知られています。一方国外では、種畜会社などを中心に豚の凍結精液が販売されていて、凍結融解後の生存率、受胎率も国内の成績より高いことが知られています。このことは、国内で実施されている凍結方法（現行法）と比較し凍結時の温度管理が異なる（プログラム法）ことが明らかとなっています。

そこでプログラム法で凍結した精液を融解後生存率の高いグループと低いグループに分け、受胎頭数に対する影響を検討しました。

2. 試験方法

材料及び方法：供試精液はデュロック種4頭から採精したものを用いました。精液採取は用手圧迫法で行い、採取した精液はガーゼ濾過して膠様物を除き、射精量を測定しました。精液は37℃で保温し、精液と同量の1.5倍量の前処理液を添加して、22℃のウォーターバス中に静置しました。2時間以上かけて温度を16℃に低下させ、その後さらに2時間、16℃で静置しました。続いてこれを遠心し、上清を除去後、等量の第一次希釈液を加え静かに混和しました。これを5℃の冷蔵庫に3時間以上静置して温度を降下させ、第2次希釈液を等量加え混和しました。混和後直ちに5mlをストローに分注し、プログラム法より凍結操作を実施しました。

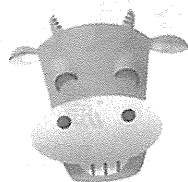
凍結精液は50℃の温水に45秒浸して融解し、37℃

に暖めた50mlの希釈液で希釈し、雄許容後24時間の雌豚に交配しました。試験区は融解後生存率が低い1区と融解後生存率が高い2区としました。雄1頭当たり6頭の雌に人工授精し、計24頭の雌豚に交配しました。雌豚はいずれもデュロック種で初産分娩、4週令で離乳した後、1回目の再起発情時に交配しました。人工授精を行ってから約1ヶ月後に雌豚はと殺し、受胎胎児数を調査しました。

3. 結果及び考察

1区と2区間の融解後生存率は48.9と75.5%で、統計的に有意な差が認められ、雄豚による個体差が大きいことが示されました。1区と2区の一腹平均受胎頭数、受胎率は6.4頭、58%と9.4頭、92%で全体でも8.2頭、75%でした。受胎頭数について1区と2区を比較してみると、融解後生存率の高い2区の方が1腹あたり受胎頭数、受胎率ともに高い傾向が認められました。今回合計の受胎率は他県で報告されているそれよりも高い値でした。受胎1腹あたりの平均受胎頭数も1区に比べ2区の方が多い傾向が認められましたが、統計的に有意な差は認められませんでした。合計の平均受胎頭数では8.2頭と自然交配に比べ約1頭少ない成績でした。

以上のことから融解後生存率の高い凍結精液を用いた場合92%の受胎率が得られました。融解後生存率の低い個体との平均でも75%の受胎率、8.2頭の平均受胎頭数で、既に報告されたものより高い値が得られ、十分実用化できることが明らかとなりました。しかし、融解後生存率の低い個体では、高い個体より受胎率、受胎頭数ともに若干劣っているため、今後は融解後生存率を上昇させる技術の検討も必要と考えられます。（種豚家きん部 日野正浩）



肉の日

毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133

<衛生便り>

インターネットと畜産情報

仙台家畜保健衛生所

インターネットの普及に伴い、一般家庭においてもインターネットを利用する機会が増えていることと思います。畜産関連分野においても様々なホームページが開設されており、私もいろいろなホームページにアクセスしていますが、私なりにおもしろいと思われるもの、有用と思われるものについて紹介したいと思います。まず、家畜疾病関連情報として最初に紹介しなくてはならないものは、なんといっても家畜衛生試験場です。畜種別の家畜疾病発生動向など疾病に関する情報が得られる他、サルモネラ感染症やO-157など人畜共通感染症に関する情報も得られます。また、家畜衛生試験場研究センター利用の「虎の巻」のコーナーでは、コンピューター利用に関する基礎知識とその利用法や文献検索情報など一般向けにも利用価値の高いものとなっています。更に、動物用医薬品に関する情報は、動物医薬品検査所から提供されており、副作用情報に関するコーナーもあります。日本獣医師会では、疾病に関する疫学情報が提供されています。一般農家にとっておもしろい情報を提供しているものは、中央畜産会が運営するホームページです。このホームページでは、経営から生産技術、家畜衛生、飼料生産まで畜産経営技術に関する様々な情報を得ることができます。また、補助事業・制度資金のコーナーでは各種補助事業、制度資金の内容が説明されています。更に、こだわり市場のコーナーでは、畜産に関する各種おもしろ情報が満載されており、特に畜産ZOO鑑では絵や写真を交えながら各家畜に関する特徴をわかり易く説明されています。また、約6万件の日本語畜産文献検索も可能です。その他に都道府県ごとの畜産業に関連した統計データ等を見ることができ、情報交換の場として、畜種別の会議室も用意されているなど盛りだくさんの内容となっています。畜産情報ネットワークでは畜産に関する様々な情報を各種団体から得ることができます。特に農畜産振興事業団では畜産物の需給に関するデータが提供されています。JA全農では、農業全般に関する情報は勿論ですが、鶏卵相場が確認できるコーナーや一風変わったところでは、雑草を写真入りで紹介している雑草図鑑のコーナーがあります。広島アグリネット：ザ和牛では、全国枝肉共助会の成績や各地の子牛市場の価格情報が提供されています。その他にも様々なコーナーがありますので、みなさんもアクセスしてみてください。

家畜衛生試験場 <http://ss.niah.affrc.go.jp/NIAH/hoge-s.htm>
 動物医薬品検査所 <http://www.nval.go.jp/>
 日本獣医師会 <http://group.lin.go.jp/nichiju/ekigaku/index.htm>
 中央畜産会 <http://cali.lin.go.jp/index.html>
 畜産情報ネットワーク <http://www.lin.go.jp/>
 JA全農 <http://www.zennoh.or.jp/index.htm>
 広島アグリネット：ザ和牛 <http://www.asahi-net.or.jp/~sf7k-mbc/>

(病性鑑定班 齋藤 裕)

実践大学在校生及びOBの抱負

「アメリカ酪農の現状」

畜産学部19期生 柴田 敬蔵

私は、1997年12月より1997年5月の間ワシントン州シアトルから北へ車で1時間15分の所に位置するスタンウッドという小さな町で酪農業を主に研修してきました。気候はというと、夏は気温が高く雨は少なく、冬は体感温度が宮城県とほぼ同じで、しかし毎日のように雨が降っていました。

この様なスタンウッドの中心街近くは、農用地が住宅地へと年々変わりつつあり、それと同時に糞尿処理に対する問題が、日本より大きくはないが、深刻化してきました。この問題をきっかけに廃業した農家もあります。故に、糞尿の堆肥化を考え、それを土壌会社へ販売し利益を得ようという考え方が出てきました。しかし、成功までに多額な投資が必要となり、足踏み状態となっている様子でした。現状としては、畑作地へ還元する従来の方法のままです。

さて、私が研修した「ヤングレンファーム」は、1950年より約40頭の経産牛で農場が始まり、現在の経営者であるLoe氏が、経産牛610頭まで拡大し、酪農の他に、ほうれん草の種子や豆を栽培・販売し利益を得ています。また収穫後の豆の殻は乾燥し、泌乳後期の牛に給餌して低コスト化を図っています。しかし、今日のアメリカ農業もまた厳しい時代に逆戻りしました。それは乳価の値下げです。今年3月まで、約44.35円/kgでしたが、その後、全国的に生乳生産調整を目的に約32.74円/kgまで下がりました。収入と支出が同じになって農場を手放したという話を数多く耳にしました。以前にも同じことがあり、その時には農家の話し合いにより、生乳を子牛に給与したり、捨てたそうです。日本でもこのようなことがあったことを覚えています。

牛体管理については、特別な技術以外は、あくまで自ら行っていました。言葉を変えると、他人をあてにはしない。これを思うと、日本の多くの酪農家は、他人、特に獣医師・普及員などに頼りすぎています。日本の酪農家は、もっと牛について知る必要があると感じた研修でした。

宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

(株) タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3-3-8 TEL022-225-7330	(株) 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL022-245-4306
(株) エ ー シ ン 仙台市若林区卸町2-10-3 TEL022-284-8111	小 田 島 商 事 (株) 古川市清水字周防10-1 TEL0229-26-4567
(株) ト ー シ ン 古川市古川字上古川屋敷9-1 TEL0229-24-3211	(株) ニ 子 工 一 仙台市若林区卸町東1-8-20 TEL022-232-9755